

公表日 2026年3月20日

保護者等数(児童数) 34名(35名)

事業所名 こぼんはうすさくら 久末教室

回収数 25件(割合〇%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2		1		活動内容や状況に応じて、適切な活動場所での対応を心がけていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1		1	送迎時なども安心できる職員配置で対応して下さっていると思います。	専門性を持った職員を配置することで、特性に合わせた療育が提供できるように心がけています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	3	1		入口のバリアフリー、エレベーター設置など配慮が十分にされている。	どのお子様にも利用しやすいように環境設定に努めてまいります。また、エレベーターがあるため、安全面に考慮してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	4		1	たくさんの部屋があり、活動に応じた適切な部屋作りができています。	清潔で心地よく過ごせる環境を今後も整備してまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25				子どもの特性に合わせた専門的な支援が受けられていると感じています。	様々な専門性を持つ職員と連携を取りながら、特性に応じた支援を今後も行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25					今後も管理者を中心に、公表している支援プログラムを職員に周知徹底してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25				よく子どものことを観察し、特性を理解して下さっていると思います。毎回とても丁寧かつ詳しく書かれた計画をいただけます。	引き続き、ご面談を通じてニーズや課題を分析した上で、計画作成を行ってまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1		1	子どもに合うご挨拶を提供して下さっており、満足しています。ガイドラインがよくわかりません。	個別支援計画にそれぞれの支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25					計画に沿った支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24			1	夏祭りやSSTプログラム等、工夫されていると思います。毎月さまざまな機能をいかなせるプログラムでアプリで計画報告してくれる。いつも色々な遊びや活動をさせていただき感謝しています。	各職員とお子様楽しんで感じられるプログラムを今後も提供していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	5		11	月に2回程度、地域の保育園と交流しています。幼稚園と情報交換してくれ、こぼんの目の前が公園で地域の子ども達と交流できる。	地域の園などとの交流の機会は少ないため、参加できそうなイベントや企画を検討していきたいと思っています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				とても丁寧でした。保育園へのお迎え等のお願いもとてもスムーズでした。	引き続き、ご契約時に丁寧な説明を行ってまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25				面談で丁寧に読んでくれて、説明してくれています。	今後も丁寧な説明を行ってまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2		4	保護者会では、療育の様子がよくわかり、保護者同士の情報交換や先生方からの助言を頂いたのでよかったです。	今後は利用者の皆様に参加できる家族支援プログラムや研修会などの機会を提供できるように検討してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	2			リズムや送迎時のコミュニケーションから情報を把握できています。送迎の際にその日の様子を聞くことができ、お話しできるのがありがたいです。	連絡帳やチャットの活用、また送迎の際に、お子様の日々の状況についてやり取りをさせていただいております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	3		2	子どもの特性をよく理解して下さっていると感じました。面談でよく話を聞いてくださり、助言してくれ、それにそって教育している。	ご面談やお電話などで、お子様の様子についてお話をさせていただいております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1		1	連絡帳等から、どの先生方も共感的に支援して下さっていると感じています。	今後もお子様や保護者の皆様に寄り添った支援を行ってまいります。

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3	3	面談の際、自宅に来てくださったのがありがたかったです。兄弟がいることや、家から施設まで距離があるので助かりました。たくさんのイベントがあり、ほとんど参加できていませんが、兄弟だけでも参加できるイベントがあるといいなと思いました。姉がこぼんの様子を見てみたいなーと言っていました。	今年度は親子夏祭りや保護者会、座談会を開催しました。今後は、感染対策を徹底しながら、保護者の皆様の交流の機会を設けてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23		2	アプリで申し入れや相談も迅速に対応してくれます。通所の曜日変更について、すぐに対応いただきました。	お子様や保護者の皆様からの相談や申し入れについて対応の体制を整備しております。今後も迅速かつ適切に対応が行えるような体制を整備してまいります。
保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25			幼稚園からの報告やこぼんでの様子をリトムに丁寧に書かれており、送迎の際も丁寧に1日の様子を伝えてくれる。	現在、保護者の皆様との連絡手段として主にチャットを使用させていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	1	2	こまめに写真をUPして下さるので様子がわかりありがたいです。アプリで丁寧に予定などこまかく報告してくれます。	活動の概要につきましては、掲示板や活動報告写真を通じて配信させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23		2		個人情報の取り扱いには、十分に注意を払ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	5	お家で、くんれんしたんだなーとわかる様子が見えたり、お家から聞かれます。	各プログラムを通して、保護者様やお子様にもお伝えしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	5	訓練実施の時の様子を共有して下さったので、助かりました。動画を見たり、訓練の様子をリトムに書いてあり、お家でもその日の練習を見せられます。	毎年、地震に備えた避難訓練を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1	4	安全の確保はしてくださっていると思いますが、周知されていたか不明なため、この評価にしました。緊急メールを送る練習をたまにやるのがとても助かる。本当にあったときの対応にこまならない。	今後も安心して通っていただけるよう、教室内の安全に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	22		3		事故発生時のマニュアルをもとに、管理者を中心に職員への対応方法の周知徹底を今後も行ってまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	2		全く行き渋ることなく安心して通っています。今年の春から通い始めましたが、すぐに慣れることができました。運転手さんや先生たちが好きなのがとてもわかります。	お子様が楽しく通えるよう、支援内容や接し方など、日々試行錯誤しながら安心できる環境整備を行ってまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	2		行きも初日と比べて笑顔になりました。とても楽しみにしています。子供の特性や興味に合わせて活動を考えて下さり、子供の成長につながっていると感じます。前の日からこぼんに行くーと、とても楽しみにしています。「いつ行く?」「今日はこぼん?」と質問し、	今後も教室での過ごし方が楽しくなるよう、多角的に支援ができるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25			非常に満足しています。ただ、放デイに入れなさそうなのがとても残念です。とても満足しています。送迎時の様子もわかるとうれしい。	各個人の目標達成を重点に置き、充実した支援が行えるように努めてまいります。

公表日

2026年3月20日

事業所名

こぼんはうすくら 久未教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	1	児童に合わせて部屋の使い分けができています。マットなどの仕切りを使用し、個別と遊びの区分けをしている 以前よりかなり改善されていると思う	活動できる部屋数が不足していると感じる
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	3	部屋割りで対応している 配置についてはわからないが、十分な職員数がある。	児童に対して職員数が多いと感じることがある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	1	玄関に車いす用のスロープやエレベーターがある	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	4	職員数が多いからこその個別対応や対児童とのコミュニケーション対応ができています 衛生管理として清潔に保てるような工夫がある こまめな消毒をし、感染予防を行っている	心地は良いが、清潔さには欠ける。 朝からゴミが落ちていたり、清潔さに欠けていると感じるときがある。 カーペットの汚れ、お湯が出ない、おもちゃなどの備品の故障が見られる
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18		パーテーションで区切るなどで環境を整えている。 職員の対応自体も迅速だと感じる 個別対応できる部屋がある	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	5		PDCAサイクルを伝えきれていない。 意識して自ら聞きに行く職員もいると思うが、朝礼・終礼をのぞくと機会は少ないほうに感じる。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	1	面談を通して、評価をしたり、職員間での共有をしたりしている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	1		なかなか意見が言える環境が少ない
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	6	全児童というわけにはいかないものの、各園や相談支援員さんとの時間を設けているように見受けられる。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18		定期的に案内が配信されており、参加している職員もいる。 本部の研修があり、新しく学ぶことができた 自分に合った研修があれば受講したい。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18		紙面と電子媒体にて共有されている。特殊なプログラムは、個人にも配信されている。 町付き決められていて良い	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18		自分に関わっていないが、情報共有はある	
	13 児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	1	周りの意見を聴くなどして個人のことを共有できている	計画作成における複数人での話し合いの場はあまりない。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	2		一部のみ。一方で自主的に聞いている職員は増えている印象 まだ力不足と感じている
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	2	支援経過記録をもとに、日々の記録を書くことができていた	フォーマットはあるものの、新しい職員が増えたこともあり、存在を知らない人や知っていてもうまく活用できていない人は多いと思う。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18		個人で考え、共有する場がある	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17		毎回ではないが、毎月、何かしらの新しいプログラムが考えられている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	17		児童に合わせて活動が、職員一人一人によって作られていると思う。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	3	事前に担当児童や、それぞれの動きを確認して打ち合わせができています。	チームとなると不安定 個人的にはあるが、全体的には少ない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	12	6	終礼時に行っている	個人でのフィードバックを行っていることもあるが、振り返りの時間が設けられているわけではない。 振り返りの時間が少ない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18		計画と前回までの記録を照らし合わせて支援の組み立てを各自で行っている。 様々な意見を聞き、実際にやってみたり、振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17		児童のモニタリングだけでなく、職員の意見も参照した計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16		入園や入学の際に必要なに応じて、情報共有やそこに向けた移行支援を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	2	学校や保護者の方など、必要に応じて行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	15	2		現在のスーパーバイザーを把握しておらず、話をしている場面を見たことはない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	10		教室内での活動（プログラム）で完結しているように見える 保育園に通っている子は多いが、地域の中のかかわりはない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17		連絡帳以外にも、チャット機能や電話などで情報共有を行っている リズムを通し、発達状況や課題を共有している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	5		あまりない（面談時を除く）	
保護者へ	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15		契約時に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16		面談時に教室としての行こうと保護者の方の要望をすり合わせたらうで、計画書を作成し、再度保護者に確認を行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	17		対面で難しい場合でもチャットや電話を通して改革所の質疑応答や変更を行っている。 面談を通して行っている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		最近では返答のスピードも速くなっており、安心して いる保護者様も多い印象	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16		今年度は保護者会（対面+zoom）や新しい試みの「親子夏祭り」を通じて多くの方にこばんの様子を知ってもらえたと感じる	

ハ の 説 明 等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16		迅速ではないが、少しずつ取り入れている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16		最近は行事が少なめではあるが、掲示板やチャットを通して発信を行っている 写真などの日ごろの様子を掲載できている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	1	写真の掲載についてもかなり気を使っている印象	ファイルの取り扱いを見直したい
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	4	ハロウィンで近くの老人ホームとの交流があった	地域住民を招待するようなプログラムは行っていない
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	2	プログラムに取り入れ、職員間だけでなく児童とも確認や訓練を行っている	マニュアルの存在がわからない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	1		訓練など少ない印象。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	2	各面談時にお聴き取りをし、情報共有を行っている アセスメントシートに記載がある	知らない児童がいるかもしれない
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16		あまり多くはないが、おやつや食育の際にはアレルギーの確認を行っている アセスメントシートに記載がある	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	2		部屋や家具の破損が多いイメージがある。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	2	プログラムの訓練の際には、保護者協力のもと、連絡などの訓練も行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17			終礼時での共有が主となっているため、全体に検討内容の共有はできていない 以前よりヒヤリハットが活用されていない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16		声のかけ方、気持ちの切り替えに加え、職員同士のコミュニケーションが意識的に行われているように感じる その日のうちにヒヤリハットを記載し、情報共有できている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	1			